

習しかできません。考えた事を英語で頭から外に出すアウトプットの練習をするには、まず独り言を英語で言ってみましょう。英語で自分に突っ込んでみたり、ボケてみたりするのはいい練習になります。

次に英語で実際に人に話す練習に移ります。慣れるまでは日本人同士で英語を話すのは変な感じがします。表現に詰まって吹き出してしまうかもしれません。それでもこれはいい練習になります。意識して身体言語も使いましょう。もし目の前に外国人がいれば話相手になってもらうのが一番です。ちなみに恋人が外国人というのは外国語を会得する最良の方法です。でも次善の策としては、今から10分間は英語だけで話すなど時間を限って日本人同士で英語を話す練習をします。長い文を話す必要はありません。短い文を次から次へと出す事で英語で発話しやすくなります。この本のおしまいに An Interview として一例を載せました。

英語が「ペラペラ」という場合、そのレベルにはピンからキリまであります。流暢にしゃべっているように見えて、実はただ挨拶と天気の話だけしているのかもしれません。難しい事を伝えるにはある程度難しい単語も必要です。この後練習する「読む」で知っている単語の数を増やす事が表現力を高

めるには一番です。話す時に和文英訳をしている暇はないので、自分の言いたい事をすぐその場で言えるように、表現の引き出しを頭の中にたくさん用意します。速くしゃべるより、正しく伝わる事を優先してください。

《インド英語はやたら巻き舌でものすごく速くしゃべります。インド人同士では通じるのに、日本人の筆者には最初まったく理解できませんでした。アメリカ人でも慣れていないとインド英語は分かりません。でも毎日聴いて慣れれば分かるようになります。ベトナム英語は語尾がはっきりしないとか、中国語英語は独自の抑揚が付くなど色々お国柄があります。日本人の英語はおおむね平坦なので、自分でもやり過ぎかと思うくらいアクセントや抑揚を付けると通じやすくなります。単語にアクセントさえあれば多少発音を間違えても英語は通じます。》

日本語との違い

日本語は最後まで聴かないと肯定文なのか否定文なのか疑問文なのか分からないのに対して、英語は最初に肯定か否定か疑問かを決めてしまうので、日本語のように言いかけて後から大きく修正することはできません。英語では最初の言い出しが大切です。また肯定文や否定文では主語から言い始め